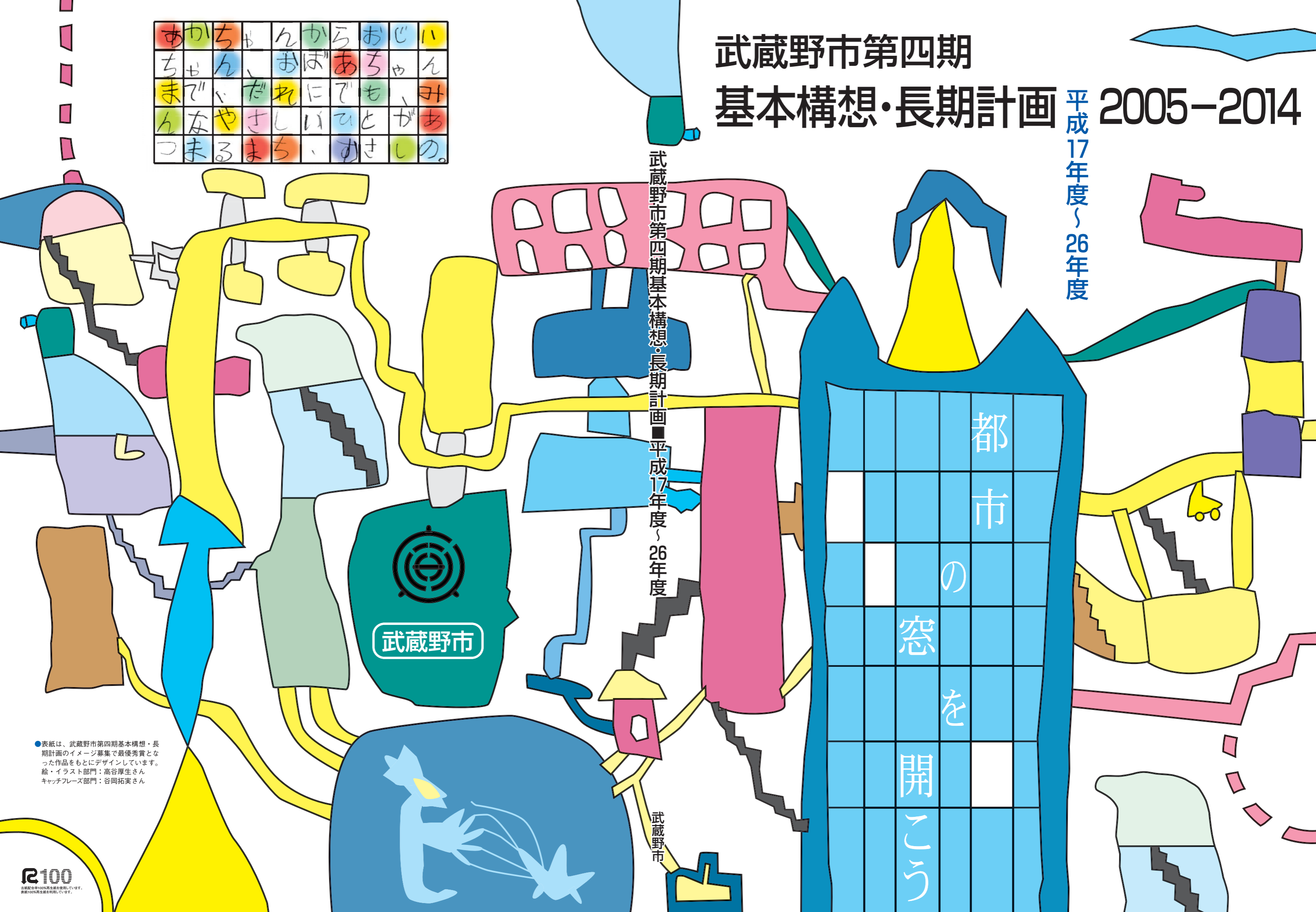


武蔵野市第四期 基本構想・長期計画 平成17年度～26年度

あ	か	ち	も	ん	か	ら	お	じ	い
ち	も	ん	、	お	ほ	あ	ろ	や	ん
ま	で	い	だ	れ	に	で	も	、	み
ん	な	や	さ	し	い	て	と	が	あ
つ	ま	る	ま	ち	、	あ	さ	し	の。

武蔵野市第四期基本構想・長期計画 ■平成17年度～26年度

平成17年度～26年度



武蔵野市

都市

の

窓

を

開

こう

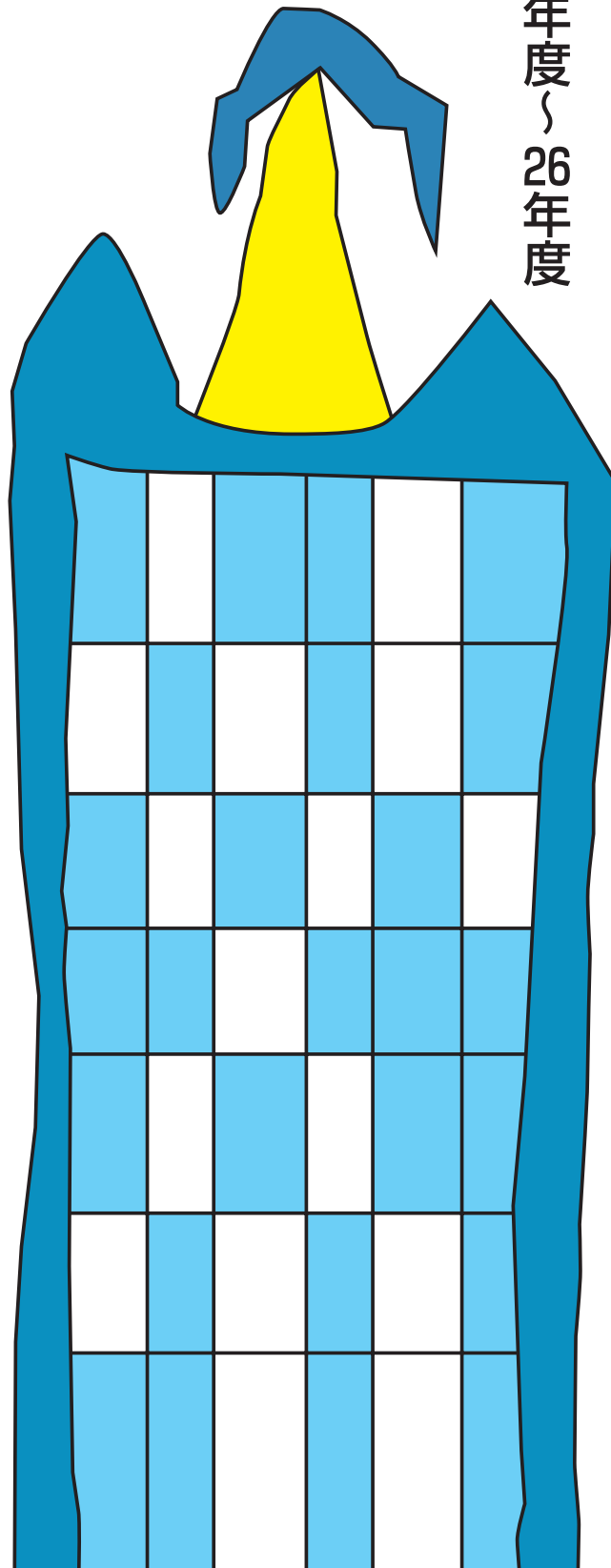
武蔵野市

●表紙は、武蔵野市第四期基本構想・長期計画のイメージ募集で最優秀賞となった作品をもとにデザインしています。
絵・イラスト部門：高谷厚生さん
キャッチフレーズ部門：谷岡拓実さん

武蔵野市第四期

基本構想・長期計画 2005-2014

平成
17
年度
～
26
年度





武蔵野市長

土屋正忠

このたび、「武蔵野市第四期基本構想」が平成16年12月6日の市議会本会議で可決され、同時に第四期長期計画が確定いたしました。これは21世紀を迎えて初めての本市の総合計画であり、計画期間は平成17年度から平成26年度の10年間となります。本計画策定の特徴はその手順にあり、計画論的にも極めて密度の濃い、充実したものとなっています。つまり、本市には市民参加によって計画を策定するという伝統がある一方、市長は代議制の基本である選挙において公約（マニフェスト）を掲げ、政策の信を問うて選出されています。従って、本市の市民委員会による策定方式は、選挙で選ばれた市長公約と市民参加に基づく市民意見を総合し、調和させたものであるという特色を有しています。

1. 市民委員会方式による計画策定

- (1)計画策定は、東原委員長をはじめとする市民委員6名及び市助役が市民・議会・職員の媒介となって策定を行う、いわゆる「武蔵野方式」により行いました。委員会は延べ24回開催されました。
- (2)分野別、地域別に市民ヒアリングを計7回開催し、延べ200名以上の市民の皆様の参加をいただきました。また、120件近い文書や電子メールによる意見、要望が寄せられたほか、市民、職員合同のタウンウォッチングを実施しました。

- (3)多様化し、質の高さを求める市民ニーズに応えるため、「サラリーマン会議」に加えて、団塊の世代の主張、地域の力を活かしたまちづくり、子ども自然体験など、テーマ別の市民会議を設置し、分野ごとに広く市民の立場から検討を加えていただきました。
- (4)「討議要綱」の段階、「計画案」の段階の2度に亘り、市議会において全員協議会を開催していただき、議論を深めました。
- (5)計画の実効性を図るため、市長を本部長とする庁内推進本部を設置し、職員総参加により計画策定に取り組みました。なお、約70名の若手職員が策定作業をサポートいたしました。

2. 状況変化への対応

- 12年前の第三期基本構想策定時に予見できなかったことで、今計画策定に当たり時代の状況変化等に基づき対応した事項は以下のとおりです。
- (1)日本全体で平成18年（2006年）に静止人口を迎えること。特に、全国的な少子高齢化の進展に伴う人口構成の変化を考慮しました。
 - (2)国の三位一体改革をはじめ、福祉や教育など広範な分野での制度改革の進行。地方分権の視点に基づき、市町村行政の立場に立脚した改革が必要です。
 - (3)本市においては、都市基盤整備をはじめ、コ

- ミュニティセンター、市民文化施設などのネットワークや施設整備がほぼ完成したこと。また、それに伴い高レベルのサービス水準を維持するためにも、今後は施設の維持管理が大きな課題であること。
 - (4)市民生活の安全性の確保や子ども・青少年に対する施策充実の声が高まるなど、市民の市政に対するニーズや要望に変化の兆しが現われていること。
 - (5)IT（情報通信技術）が急速に進展し、市民生活にも浸透して、ライフスタイルを大きく変化させつつあること。
 - (6)成熟社会への移行に伴い、都市と地方の役割・機能の再構築が必要になっていること。都市は単立できません。
- 以上のほか、各行政分野の個別計画なども踏まえながら、計画策定を行いました。

3. 今後の取組みについて

この第四期基本構想では、「都市の窓を開こう」「新しい家族を育てよう」「持続可能な社会をつくろう」という3つの目標を掲げました。都市と地方の共存、地域における支援機能としての“新しい家族”、地球の有限性に根ざした運命共同体としての人類といったものをそれぞれ表現しています。

今後、この第四期基本構想・長期計画を着実に推進するため、個別施策を具体化するための実施計画（アクションプラン）作りを進めてまいります。

さらに、本計画に基づく各個別施策については、毎年度の予算編成に反映して実行していくほか、状況変化に伴い必要となった施策についても個別に予算編成で対応してまいります。

結びに、平成15年9月の策定委員会発足以来、1年3ヶ月にわたってご尽力いただいた東原委員長をはじめとする策定委員、ご意見、ご要望を寄せていただいた多くの市民や議員の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、地方分権の進展とともにますます重要性を増す本市行政運営のため、全国の市町村の先頭に立ち牽引車となる誇りと気概をもって、豊かな地域社会を作るため、今後も積極的に役割を果たしてまいりますと存じます。



基本構想

前文

都市の窓を開こう、新しい家族を
育てよう、持続可能な社会をつく
ろう……………10

もくじ

第1章

第四期基本構想・長期計画の前提
……………14

1 市勢と将来展望……………14

(1) 市勢……………14

(2) 将来展望……………14

2 長期計画策定方式……………16

3 まちづくりの現状と課題、
新たな視点……………17

4 策定期間とローリング
スケジュール……………17

5 これまでの成果……………18

I 第三期長期計画第二次調整計
画の優先事業……………18

II その他の主な成果……………20

第2章

まちづくりの目標と圏域ごとのま
ちづくり……………22

1 まちづくりの目標……………22

(1) 個人を尊重し人々がともに
助け合うまち……………22

(2) 家族とともに。子どもが輝
くまち……………22

(3) 環境と共生する循環型の
まち……………23

(4) 緑あふれる快適なまち……………23

(5) 文化が薫る品格のあるまち
……………24

(6) 市民と地域がつくる活力あ
るまち……………25

2 個性を活かした圏域ごとのま
ちづくり……………25

(1) 吉祥寺圏……………25

(2) 中央圏……………26

(3) 武蔵境圏……………27

第3章

施策の大綱……………30

I 健康で安らぎある生活を保障
する
—健康・福祉……………30

II 家庭と地域が支える
—子ども・教育……………32

III 快適で豊かな都市文化をはぐ
くむ
—緑・環境・市民生活……………34

IV 安全で美しいまちを築く
—都市基盤……………36

V 地方制度改革に対応して質の
高い市民サービスを提供する
—行・財政……………38

長期計画

第1章

まちづくりの現状と課題、新たな
視点……………44

1 人的サービスの質と倫理性
……………44

2 市民パートナーシップの意義
……………44

3 健全な財政運営……………45

4 安全安心のまちづくり……………46

5 コミュニティと都市間交流
……………47

6 高齢者・障害者への支援……………48

7 家族と教育……………48

8 家族に対する男女の責任……………50

9 環境形成とまちづくり……………50

第2章

施策の体系……………54

1 優先施策……………54

(1) 安全・安心なまちづくりの
推進……………54

(2) 高齢者福祉施策の推進……………54

(3) 子ども施策の推進……………54

(4) 緑化・環境施策の推進……………55

(5) 吉祥寺のまちづくりの推進
……………55

(6) 武蔵境のまちづくりの完成
……………55



長期計画

第2章

- 2 施策の体系……………56
 - 1 健康・福祉……………56
 - 1 健康で暮らしつづけるための施策……………56
 - 2 雇用・自立支援と生きがい活動の推進……………58
 - 3 地域で支え合う福祉のまちづくり……………59
 - 4 安心して暮らせるまちづくり……………60
 - 5 サービスの質の向上と利用者の保護……………61
 - 6 サービス基盤の整備……………62

- II 子ども・教育……………64
 - 1 子育て支援施策の総合的推進……………64
 - 2 親子のふれあいと家庭への啓発……………66
 - 3 子育て支援施設の整備……………67
 - 4 学校教育の充実……………68
 - 5 青少年施策の充実……………70
 - 6 生涯学習施策の拡充……………71

- III 緑・環境・市民生活……………73
 - 1 持続可能な都市の形成……………73
 - 2 緑豊かな都市環境の創出……………74
 - 3 身近な自然の回復と保全……………74
 - 4 農業の振興……………75
 - 5 商工業の振興……………75
 - 6 都市観光の推進—地域の再発見……………76
 - 7 真に豊かな消費生活の推進……………76
 - 8 防犯性の高い快適なまちづくり……………77
 - 9 防災態勢の強化……………77
 - 10 市民活動の活性化と協働の推進……………78
 - 11 男女共同参画社会の推進……………79
 - 12 都市・国際交流の推進……………79
 - 13 生涯スポーツの振興……………80
 - 14 特色ある市民文化の発展……………80

- IV 都市基盤……………82
 - 1 参加と連携によるまちづくりの推進……………82
 - 2 地域ごとの特色あるまちづくり……………82
 - 3 事業効果・環境共生等の視点……………83
 - 4 防災・防犯施策の推進……………84
 - 5 住宅施策の総合的推進……………84
 - 6 円滑な移動環境の整備……………85
 - 7 道路ネットワークの整備……………86
 - 8 上・下水道の整備……………88
 - 9 吉祥寺圏の整備……………88
 - 10 中央圏の整備……………89
 - 11 武蔵境圏の整備……………90

- V 行・財政……………91
 - 1 市民パートナーシップの積極的推進……………91
 - 2 市民ニーズに応えるサービスの提供……………91
 - 3 積極的な情報発信と情報セキュリティの徹底……………92
 - 4 健全な財政運営の維持……………93
 - 5 時代の変化に対応する柔軟な行政運営……………94

第3章

- 財政計画……………98
 - 1 日本経済の動向……………98
 - 2 武蔵野市の財政の状況と課題……………98
 - 3 武蔵野市の財政見通し……………99
 - 4 財政計画の策定の考え方……………101
 - 5 財政計画……………103

付表

- 〈付表〉 施策体系図……………106

- 〈参考〉 第四期基本構想・長期計画策定の経過……………121



もくじのページは、イメージ募集入賞作品の中からデザインしています。：齋田安彦さん・鈴木涼介さん・戸田結衣さん・松岡美羽さん・大塚りさ子さん・山川まりなさん・保谷なおきさん・松浦太一さん・萩田瑞生さん